

測量調査にご協力いただき、ありがとうございました

昨年の夏から新駅周辺整備検討区域（約 24ha）内において、過去の測量データから変更のある土地・建物・構造物等を対象に、現況を把握するための測量作業を実施させていただきました。ご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

この作業により、区域内の道路や建物等の位置情報の精度を向上させることができました。この情報は、今後のまちづくりの計画に向けて必要不可欠となります。

現在、新駅や線路を含む鉄道用地、駅前広場、骨格となる道路などの規模・配置に関する検討を進めております。今回の測量成果につきましては今後の説明会等でお示ししていくとともに、計画のさらなる具体化に向けた作業を進めてまいります。

JR東海と4回目の技術相談を実施しました

JR 東海からの「新駅周辺のまちづくりの検討にあたり、助言等を求められれば協力していく」という見解を受けて、これまでに 3 回の技術相談を実施しました。

第 1 回(令和元年)：新幹線の線路と交差する道路の一般的な考え方について

第 2 回(令和4年)：新幹線の線路と交差する道路の設計条件について

第 3 回(令和5年)：新幹線の線路と交差する道路の桁下の高さについて

新幹線の線路と並行する道路との空間の取り方について

これまでの相談は、新幹線の線路周辺の道路を中心に行われました。今年度も第4回目となる相談を実施しました。

これらを通じて、新駅設置に必要な道路や用地の考え方を明確にし、相談内容を反映し、将来の具体的な計画案へとつなげていきます。

相談を重ねてきていることは、将来の新駅実現に向けて大いに期待できるものと捉えています。実施概要については、あらためてお知らせいたします。

今後もより具体的な相談を続け、計画案をさらに詳細なものにできるよう、取り組みを進めていきます。

倉見拠点づくり課よりお知らせ

町では、令和7年4月に組織の見直しを実施します。4月からは新たに設置される町長室に倉見拠点づくり担当を配置し、重要プロジェクトとして事業推進に努めてまいります。

なお、新幹線新駅と倉見地区のまちづくり実現に向けて、引き続き取り組んでまいりますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

個別相談の予約
等お問い合わせ



まちづくり
ニュース

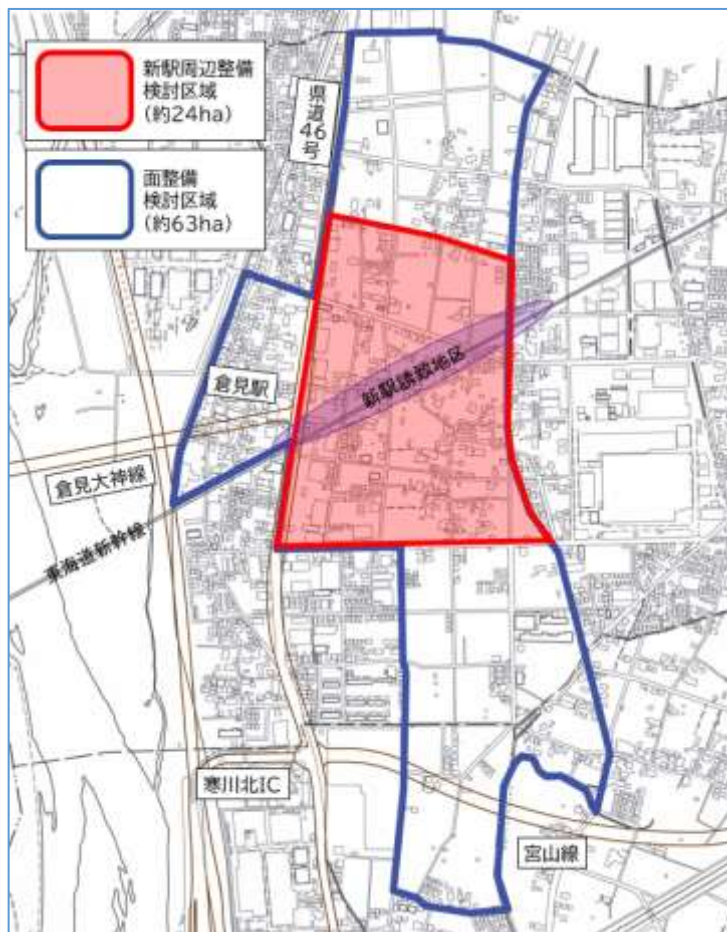


これまでの取り組み

ツインシティ倉見地区は、右図の青色で囲まれた最大の面整備検討区域（約63ha）を見据えつつ、現在は赤色で囲まれた「新駅周辺整備検討区域（約24ha）」を、まちづくりを重点的に検討する区域として位置付け、具体化に向けた取り組みを進めております。

今年度は、新幹線新駅にふさわしい「まち」の姿や、道路や鉄道用地をはじめとした公共施設の配置、交通結節点としての役割について検討しています。そのために、まずは基礎データとなる測量や調査に注力してまいりました。

また、今後、県道410号（湘南台大神伊勢原）の一部をなす都市計画道路宮山線や、倉見大神線（仮称：ツインシティ橋）の整備も進められることから、新駅周辺整備検討区域を取り巻く周辺の区域についても、将来的な整備の望ましいあり方などの検討を進めているところです。



今後の取り組み予定

来年度以降も、新駅の受け皿となるまちづくりの具体化に向けた検討を続けるとともに、今年度のデータを基に基本的な構造物の配置等に関する設計にも着手する予定です。

また、関係権利者の皆様には、将来的に事業が始まった場合の「補償」や「税金」に関する勉強会を開催します。その後、地権者の皆様の属性に応じた説明会や勉強会も実施する予定です。お待ちしておりますが、詳細は別途お知らせいたします。

これらの取り組みを通じて合意形成を図るとともに、新駅設置の要望活動や技術相談を重ねながら、将来の駅設置に向けた取り組みを進めてまいります。

引き続き、本事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

① テーマ別勉強会

- ・事業を実施した場合に生ずる「補償」について（一般的な内容・モデルケースなど）

② テーマ別勉強会

- ・事業を実施した場合に変更となる「税金」について

③ 地権者属性別の説明・勉強会